

日本地誌要畧

大槻修三編

二

卷二
東海道
關東
小笠原島

291.
0934m
II

大槻修二編

第...

国立国会
-29.10.19
図書館

348415

日本地誌要略

青山紅樹書樓藏版



日本地誌要略卷之二

大槻修二編

東海道

伊賀伊勢志摩尾張三河遠江駿河甲斐伊豆相摸武藏安房上總下總常陸ノ十五國ヲ、東海道トナス、西ハ畿内及南海道ニ接シ、東南共ニ太平洋ニ向ヒテ、東ニ亘ル百三十里、故ニ海道ノ稱アリ、北ハ山脈ヲ限リテ、東山道ト境界ヲ分テドモ、尾張及關東諸國ハ、平野互ニ相交リテ、木曾利根ノ兩大河ヲ以テ、其經界トナセリ、伊賀甲斐ハ、其ニ山間ノ小國ニシテ、志摩伊豆各洋中ニ出テ、東西相

日本地誌要略卷之二

對シ、其海上ヲ遠江灘ト云フ、又伊勢三河駿河ノ三内海
アリ、關東ハ相摸以下ノ六國、及山道ノ上野下野ヲ并セ
テ、古ヨリ坂東又山東ト呼ヒ、自一區域ヲナセバ、別ニ八
州ヲ一部トセリ、

伊賀 四郡

山城大和伊勢及近江ノ間ニ夾ル小國ニシテ、連山相圍
ミ、内地モ、赤岩尾中瀬岩倉等ノ溪谷アリテ、河岸ノ地、僅
ニ平坦ナルノミ、上野名張ノ兩邑アリ、上野ハ伊賀越ノ
要路ニ當リテ、人口一萬二千アリ、伊勢ノ關ヨリ、大和ノ
奈良ニ至ル、路程二十一里、即上世ノ官道ナリ、

三國山ハ、西南ニ立チ、尾岳首岳及元取布引長野ノ諸山、
其東ニ並ヒテ、伊勢ノ境ニ連ル、西ハ大和ノ宇陀山邊ト、
土地相交ルモ、茶白山鷹塚山等自國境ニ列レリ、正北ハ、
油日山篠岳高旗山等、群山相重リテ、近江ノ信樂谷及伊
勢ノ加太谷ニ接ス、其西ノ山城ニ接スル處ハ、即伊賀越
ノ通路ニシテ、伊賀名張ノ兩川、其間ヨリ西ニ流レテ、山
城川トナル、○柘植川ハ、加太谷ニ出テ、河合川ハ、信樂谷
ヨリ來ル、相合ヒテ、西南ニ流ル、服部川ハ、布引山ニ發シ
テ、東ヨリ來リ、相會シテ上野川ト云フ、其流十五里、又首
岳ニ發源セル長田川ニ會シテ、伊賀川ノ稱アリ、名張川

ハ、東西兩源アリ、共ニ名張ニ會シテ、北流十二里、月瀨尾山ノ際ヲ流ル、處ヲ、差月川ト呼フ、其西源ハ、即宇陀川ニシテ、赤目四十八瀧ノ下流ヲ并セテ、又黒田川ト云フ、東源ハ、長瀨川ト云ヒ、尾岳ヨリ流れ來リテ、又夏見川ノ稱アリ、○差月川ノ兩岸ハ、滿山ノ梅樹ニシテ、謂ユル月瀨ノ梅、是ナリ、

伊勢 十三郡

垂仁帝二十五年、天照大神ヲ、大和ノ笠縫邑ヨリ、此國ノ宇治ニ奉遷シテ、皇大神宮ト稱ス、是ヲ内宮ト云フ、其後雄略帝二十二年、豐受大神ヲ、丹波ノ真名井原ヨリ、山田

ニ遷シテ、外宮ト云フ、此二郷ハ、國ノ南隅ニシテ、宮川其北ヲ環レバ、川内ト稱シテ、他郷ト異ニス、古市、川崎等、街市相連ル一里、人口二萬二千アリテ、神都ノ稱アリ、諸國ノ人來リテ兩神宮ニ參拜スル者、毎歲數萬、是ヲ參宮ト呼ヘリ、南ハ朝熊山、神路山、相並ヒテ、志摩ノ境ニ亘ル、東ハ内海ノ濱ニ臨ミテ、大湊ニ見浦等、相連ル、二見ノ立石、海中ニ雙立シテ、最有名ノ勝地タリ、内海ハ、伊勢海ト云ヒ、尾張ト相抱キテ、相距ル五六里、南北十餘里、海濱ハ、兩國ニ亘リテ、島嶼ナク、岬角ナシ、大湊ヨリ、伊尾川ノ海口ニ至ル、平坦三十里、中間ヲ鼓浦阿漕

浦ト云ヒ、北ヲ霞浦ト呼ヒ、南ハ即二見浦ナリ、伊尾川ハ、美濃ヨリ來リ、木曾川ハ尾張ヨリ來リ、各南流シテ相合ヒ、又長島ヲ抱キテ、共ニ内海ニ注ク、是ヲ國ノ東北境トナス、

西境ハ、連山一帶、相並ヒテ、北ヨリ南ニ亘レリ、即近江ノ伊吹山ヨリ連リ來ル山脉ニシテ、藤原岳、鎌岳、鈴鹿山等相列ル、鈴鹿峠ハ、兩國ノ通路ニシテ、伊賀ニ跨リテ、又高旗山ト云フ、其南麓ハ、即加太谷ナリ、此地ハ、天武帝ノ鈴鹿關ヲ置セラレレ舊趾ニシテ、美濃ノ不破、及越前ノ愛發ト、三關ト稱セリ、故ニ關驛其山下ニアリテ、東海道及

參宮道伊賀越ノ要路ニ當レリ、伊賀ノ境ハ、長野、元取、及、尾岳等ニシテ、大和ノ境ヲ、高見山、國見山トナス、大臺原其南隅ニ重リテ、紀伊ニ跨ル、即大洋ノ岸ニ至レリ、内地ハ、大別シテ、北伊勢、南伊勢ト云フ、北勢ハ、東北ニ多度山、篠立山アリ、漸西ニ亘リテ、高原相連ル、廣瀬野、能褒野ト云フ、能褒野ニ、日本武尊ノ山陵アリ、其西ハ、雜足山、筆捨山等相並ヒ、錫杖岳、經峯、又其南ニ峙テリ、海濱ハ、伊尾川ノ海口ヲ、桑名ト云フ、尾張ニ渡ル要津ニシテ、一萬八千ノ人口アリ、四日市ハ、近頃波戸ヲ築キテ、大ニ舟泊ノ便ヲ開キ、常ニ汽船ノ出入アリテ、品物ノ運輸ハ、當國

第一ノ大港ト稱ス、且東海道ノ驛路ニシテ、庄野龜山ヲ
經テ、鈴鹿ニ至ル者ヲ、正路トシ、又支路ヲ南ニ分チ、神戸
白子ヲ經テ、津ニ至ル者ヲ、參宮ノ東路トス、津ハ安濃津
ノ略稱ナリ、國ノ正中ナル一都會ニシテ、人口二萬二千
アリ、阿漕浦ニ臨ミテ、鰲崎ヲ舟泊ノ處トナス、○南勢ハ、
堀坂山局岳白猪岳ノ三山、相並ヒテ、以東ハ地勢平坦ナ
レバ、常ニ舟人ノ目標トナルト云フ、南ハ宮川ニ沿ヒテ、
明野原アリ、松坂モ、亦繁盛ナル街市ニシテ、津山田ノ中
間ニ當リ、海濱ハ大口港ニ接セリ、三山ノ西陰ハ、矢頭白
口等ノ諸山、相重リ、村里悉山山谷ノ際ニアリ、多氣城址ハ、

北畠顯能ガ、南朝ノ命ヲ受ケテ、國司クリシ居城地ナレ
バ、尚御所邸ノ名ヲ存セリ、群山ノ南ハ、大臺原ノ麓ニ亘
ル深谷ニシテ、大杉谷ト呼ビ、不動瀧、光瀧等、高各數十丈、
共ニ宮川ノ源流タリ、其南隅ハ大洋ニ臨ミテ、紀伊ノ熊
野浦ニ連リ、海岸高ク峙チテ、岩礁並ヒ列ル、御寄赤石寄、
相對シテ、五箇所灣ヲ抱キ、迫間浦、礫港等、灣内ニ臨ミ、
又方座神前ノ諸港アリ、總テ九十九浦ト稱シテ、村民皆
漁獵ヲ業トス、其志摩ノ南ニ連ルヲ以テ、常ニ南志摩ト
呼ヘリ、
一國ノ川流ハ皆西北ノ連山ヨリ出テ、悉東ニ流レテ、直

ニ内海ニ入ル、故ニ其數甚多キモ、却テ大河ナシ、員辨川ハ、篠立山ニ出テ、下流ヲ町屋川ト云フ、三重川ハ、源ヲ鎌岳ニ發シテ、四日市ニ注ク、鈴鹿川ハ、加太谷ヨリ來リテ、關龜山ヲ過キ、御幣川ヲ并セテ、高岡川ノ稱アリ、安濃川ハ、又塔世川ト云ヒ、錫杖岳ニ發シテ、阿漕浦ニ入ル、共ニ北勢ノ諸流タリ、南勢ハ、雲津川其源ヲ尼岳ニ發シ、數川共ニ久居ニ合ヒテ、辛洲ニ注ク、柿田川ハ、高見園見ノ兩山ニ出ツル者、相會レテ、東流、十七里、分レテ兩派トナリ、支流ヲ稻木川、又後川ト云フ、宮川ハ、水源最遠シ、三十二里ニシテ、大湊ノ北ニ入ル、其他ハ、笹川ノ松坂ノ市中

ヲ流レ、五十鈴川ノ宇治ノ宮前ヲ環ル等アリ、ドモ、共ニ細流ナルノミ、

志摩 二郡

國小ニシテ、三面共ニ大洋ニ向ヒ、沿海僅ニ七里餘、最南ヲ麥崎ト云フ、岬前ハ大小ノ岩礁並列シテ、神島瀬ト云ヒ、潮流常ニ險惡ナリ、正南ニ向ヒタル一岬ヲ御座崎ト云ヒ、熊野浦ヲ隔テ、紀伊ノ汐御崎ト相望ム、其間三十里、岬陰ハ、海灣深ク入りテ、濱島港其北岸ニ臨ミ、以西ハ、直ニ伊勢ノ南志摩ニ連ル、○大王崎ハ、麥崎ノ東ニ峙ツ者ニシテ、大王岩其海中ニ屹立セリ、正東ハ、伊豆岬ト相

對レテ、直徑六十里、即、遠江灘ナリ、
的矢港ハ、鳥羽ト共ニ東ニ向ヒタル港泊ナリ、安乘崎出
テ、菅崎ト港口ヲ夾ミ、渡鹿野島ハ、灣ノ中央ニ横レリ、
港北ニ伊雜神社アリ、其上ヲ青峯トナス、伊勢ト相接シ
テ、其間ニ九十九谷アリト云フ、下流ハ池田川トナリテ、
其灣内ニ注ケリ、

鳥羽港ハ、三河岬ト相對シ、神島其中央ニ立テテ、伊勢海
ノ門口ヲナス、桃取島菅島等、相並ヒテ、港ノ前面ヲ抱キ、
其内ハ一ノ大灣ヲナレテ、大船巨艦モ、碇泊スル一堪ハ
タリ、日和山港上ニアリテ、山上ハ内外海ヲ望ミテ、風雨

陰晴ヲ定ム、此地ハ、朝熊山ヲ越エテ、伊勢ノ山田ニ
至ル四里、海濱ハ、大湊ト相距ル五里、故ニ街市頗繁華ニ
シテ、且南洋中ノ要津ナリ、

尾張 八郡

地勢平坦ニシテ、南ハ内海ニ臨ミ、北ハ美濃ニ連リテ、廣
野二十里ニ亘レリ、木曾川東ヨリ來リテ、兩國ノ間ヲ限
リ、西南ニ流レテ、佐屋川ヲ分テリ、本流ハ、西ニ環リ、伊勢
ノ長島ニ至リテ、伊尾川ニ合フ、是ヲ三國ノ境トナス、下
流ハ又、佐屋川ヲ并セテ、數派トナリ、前須ニ至リテ、内海
ニ入ル、其流十二里、源流ヨリ算スレハ、五十里ノ長流ナ

レトモ、舟運ハ、纒ニ下流ニ通スルノミ、
 小牧山ハ、平野ノ中央ニアル小岡ニシテ、天正中、徳川氏
 ノ織田信雄ヲ助ケテ、羽柴氏ト對陣セシ處タリ、此國ハ
 織田氏、數世ノ領國ニシテ、信長常ニ清須城ニ居リシト
 云フ、○國ノ東北隅ハ、木曾川ノ岸ヲ、稻置ト云フ、其東ハ、
 繼鹿尾本宮、小富士ノ諸山アレトモ、皆高峻ナラス、山際
 ニ入鹿池アリ、周回、三里、下流ハ水田十萬石ニ及フト云
 フ、美濃、三河ト相接スル處ハ、三國嶺雲見峯等アリ、其邊
 ハ、樹木繁生シテ、小金山前山、白山等ノ山林アリ、中間ノ
 一邑ヲ瀨戸ト云フ、磁器製造ノ業、最有名ノ處タリ、連岡

一帯、南ニ連リテ、兩村山トナリ、遂ニ海中ニ出ツル十八
 里、是ヲ知多郡トナス、○知多ハ、南ニ出テタル半島ニシ
 テ、西面ハ、伊勢海ニ臨ミテ、大野、常滑ノ諸邑アリ、東面モ
 亦、三河ノ入海ヲ抱キテ、衣浦ト稱セリ、最南ノ端ヲ、羽豆
 崎ト云ヒ、岬陰ヲ師崎港トナス、篠島、日間賀島等、岬前ニ
 並ヒテ、三河ノ伊良胡崎ト、相距ル甚近シ、郡中ハ、地味膏
 沃ニシテ、米穀魚鹽ノ利アリ、
 庄内川ハ、上流ヲ玉野川ト云フ、美濃ノ土岐川、三河ノ猿
 扱川、山林ノ間ニ相合ヒテ、西ニ下リ、矢田川ヲ并セテ、南
 ニ繞リ、兩派トナリテ、支流ヲ一色川ト云フ、本流ハ枇杷

島ヲ過キテ、内海ニ入ル、其流二十二里、是ヲ此國ノ大川トナス、其他平野ノ間ヲ環リ流ル、者ハ五條川、日光川等、皆木曾川ヲ引キテ、田畝ノ用水ニ供フル者ナリ、名古屋ハ、全國第四ノ大都會ニシテ、街市ハ東西一里、南ハ熱田ニ連リテ、二里ニ亘ル、并セテ十四萬ノ人口アリ、本城ハ、慶長十五年、徳川義直ガ、新ニ築造セシ有名ノ城壁ニシテ、城内ヲ鎮臺本營トナス、本町、京町、傳馬町ヲ通衢トナス、西ハ枇杷島橋ヲ、庄内川ニ架ケテ、清須ト相距ル一里、又堀川ヲ南ニ通スル一里餘、潮流相通シテ、内海ノ運漕ニ便ニセリ、熱田ハ内海ニ臨ミタル街市ニシテ、

東海道ノ驛路ニ當リ、又中山道、北國道ノ要路ヲ受ク、熱田神宮アレハ、宮トノミ呼ヘリ、神宮ハ、草薙劍ヲ奉祀シテ、伊勢神宮ト、並稱セラレ、大社ナリ、海濱ハ愛智瀉ト呼ヒテ、保田ヲ舟泊ノ處トナス、伊勢ノ桑名ハ海上七里、是ヲ官道ノ渡津トナセシガ、近來海濱ニ沿ヒテ、新路ヲ開キ、前須ニ至ル五里半、更ニ舟路二里ナリト云フ、其舊道ハ、佐屋廻ト云ヒ、五里餘ニシテ、津島ニ至ル、佐屋川ニ臨ミタル一邑ニシテ、牛頭天王ト呼フ大社アリ、河舟三里ニシテ、桑名ニ達セリト云フ、

三河八郡

矢矧、大平及豊川ノ三大河ヲ、國名ノ起原トナス、矢矧川、最大ナリ、其流二十二里、源ヲ信濃ニ發シテ、美濃ノ境ヲ限リ、轉シテ南ニ下リ、足助川ヲ并セテ、岡崎ニ至ル、矢矧橋ヲ架ケテ、海道中ノ長橋ト稱セシモ、今ハ廢絶セリ、橋下ニテ、大屋川ヲ并セ、西尾ヲ過キテ、平坂港ノ北ニ注ク、豊川ハ神田山ヨリ出テ、國ノ東隅ヲ南ニ流ル、十七里、寒狹川ヲ長篠ニ并ス、此地ハ武田、徳川兩氏ノ古戰場タリ、川流ハ、鳥巢山ノ麓ヲ流レ、本野原ニ沿ヒテ、吉田ニ至ル、官道ニ長橋ヲ架ケテ、豊橋ト云フ、橋下ハ即河口ナリ、大平川ハ猿投山ヨリ出テ、南流十里、刈谷ヲ過キテ、

大濱ニ注ク、其尾張ノ境ヲ流ル、ヲ以テ、常ニ界川ト呼ビシヨリ、今ハ大屋川ヲ指シテ、大平川ト稱セリ、本宮岳ハ、國ノ中央ニ峙テ、其西南ハ、宮路、桑谷等ノ連山アリテ、内海ノ北岸ニ列ル、本宮岳ノ東麓ヲ、本野原トナス、原中ノ一路ハ、遠江ニ達スル本坂越ニシテ、海道ノ支路タリ、鳳來寺山ハ、煙巖山ト號シ、高ク其北ニ聳エ、後山ハ神田、段戸、大多賀ノ諸山、相重リテ、信濃、美濃ノ際ニ接セリ、正西ハ、猿投山高ク峙テ、尾張ノ境ヲ限レリ、○鳥巢山ハ、阿寺山、嵩山ト相重リテ、遠江ノ境ニ並ヒ、南ニ亘リテ、國ノ東境ヲ限ル、石卷山ニ接シテ、外海ノ岸ヨリ、折

レテ西ニ亘ル十三里、是ヲ渥美郡トナス、田原山郡ノ中
 央ニアリ、南面ハ全ク大洋ヲ受ク、即遠江灘ニシテ、風浪
 常ニ險惡ナリ、西端ヲ伊良胡崎トナス、西ハ志摩ノ桃取
 島、伊勢海ノ門口ヲ夾ミ、北ハ尾張ノ羽豆崎ト、相對シ
 テ、兩海峽ハ、中間各三里ヲ隔ツ、郡ノ北面ハ、大ナル内海
 ヲ抱キテ、佐久島、竹島等アリ、吉田、御馬、平坂、大濱ノ四港
 ハ、共ニ其北岸ニ臨ミテ、平坂、大濱、最運輸ノ利アリト云
 フ、
 此國ハ、徳川氏ノ領セシ處ニシテ、長ク岡崎ニ居城セシ
 カバ、街市ノ盛ナルヲ、今尚二萬ノ人口アリ、海道中ノ大

邑ニシテ、名古屋ト相距ル十里、又東北ノ一路ハ、足助ヲ
 歴テ、信濃ノ飯田ニ達スヘシ、吉田ハ豊橋ト改稱シテ、亦
 官道ノ驛路ニ當レリ、

遠江 十二郡

濱名湖ハ國ノ西南隅ニシテ、東西四里、南北ハ五里許、沿
 回二十里、高師山、本坂山等、其西岸ニ並ビ、一灣深ク北ニ
 入ル者ハ、郡名ヲ呼ヒテ、引佐細江ト云フ、其北隅ヲ氣賀
 トナス、湖中ハ風景明美ニシテ、近江ノ湖水ト并稱セシ
 處ナレハ、國名モ亦相對シテ、此號アリト云フ、往時ハ、湖
 水南ニ流レテ、一河ヲナシ、濱名橋アリシモ、明應八年、地

大ニ震ヒシ時、湖口崩レテ、海水相通セリ、其間一里、今切ト云フ、故ニ今ハ内海トナリテ、海口ヲ濱名港ト云フ、然レ其奥ハ尚猪鼻湖等ノ勝地アリ、此國ハ、三面ハ連山相圍ミテ正南ハ大洋ニ向フ、即志摩伊豆ノ間ニ當リ、遠江灘七十五里ト云ヒ、又遠州灘ト呼フ、御前崎其中央ニ突出スル二里、岩礁並立シテ、大ナル者ヲ、沖ノ御前ト云フ、海岸ハ志留波磯ト呼ヒ、激浪常ニ起リテ、舟行甚艱ムト云フ、岬ヨリ東ハ、駿河ニ亘リテ、釘浦ト云ヒ、大井川ヲ兩國ノ境トナセリ、一國ノ海濱ハ、平砂二十五里、松林其上ニ連リタリ、且國內モ中央以南ハ、

廣原甚多ク、東ニ布引原アリ、中間ニ磐田原アリ、西ハ三方原ト呼ヒテ、頗大ナリ、古ハ引馬野ト稱ヒリ、濱松ハ原ノ南隅ニアリ、海道ノ大邑ニシテ、東西兩京路程ノ正中ニ當リ、人口一萬アリテ、國ノ一都會ノ地タリ、西ニ佐鳴湖アリ、小渠ヲ通シテ、内海ヨリ、舟運ヲ濱名港ニ達セシム、又原中ノ一路ハ、氣賀本坂ヲ歴テ、三河戶至ル者ヲ、本坂越ト云フ、

秋葉山ハ、國ノ中央ニ立チテ、本宮山光明山、其前ニ並列シ、山北ハ、山住山孖生山等、深山幽谷相重ル十餘里ニシテ、信濃ノ惠儀山ニ連リ、人跡ノ到ラサル處タリ、青崩崎

僅ニ兩國ノ通路ヲナスノミ、山岳ノ高峻ナルヲハ、實ニ海道中ノ第一タリ、東境モ、亦不動岳、朝日山、大日山等、相連リテ、南ニ亘リ、八高山、尾美岳等、相並ヒタリ、連山ノ東麓ハ、即大井川ナリ、淡岳ハ俗ニ無間山ト云フ、其南端ニ峙ナテ、以南ハ、山圍ノ既ニ解クルヲ以テ、常ニ海路ノ目標トナルト云フ、佐夜中山、富田山等ハ、淡岳ノ麓ヨリ、相連リテ、海岸ニ至リ、小笠、高天神ノ兩山トナル、高天神山ノ麓ハ、横須賀ノ城市ニシテ、舟泊ノ處ナリシガ、寶永中ノ震災ニ、港口塞リテ、海港ヲナサズト云フ、天龍川ハ、信濃諏訪湖ノ下流ニシテ、國ノ西北隅ヲ流レ、

東ニ轉シテ、朽生氣田ノ諸川ヲ并セ、秋葉山ノ西麓ヨリ、直ニ國ノ中央ヲ貫キテ、南ニ下ル、其流三十里、分レテ大天龍、小天龍トナリ、共ニ掛塚港ニ注ク、湖口ヨリ海口ニ至ル六十里、水流頗急駿ナレトモ、行舟ハ遙ニ上流ニ及フト云フ、吉川ハ尾美山ニ出テ、敷智川ハ本宮山ヨリ來リ、相合ヒテ、大田川ト云フ、其流二十里、二瀨川ハ、淡岳ニ發シ、官道ニ沿ヒテ、掛川袋井ヲ過キ、相集リテ、福田港ニ注ク、福田掛塚ノ兩港ハ、河口ナレバ、水淺クシテ、大船ヲ留ムル能ハスト云フ、

駿河 七郡

富士山直立一千四百丈、北ハ甲斐ニ跨リ、八峯並列シテ
四面其形ヲ同シクセリ、實ニ海内無雙ノ名山ニシテ、我
國第一ノ高岳ナリ、常ニ富岳ト呼フ、山路三條、其北面ヲ
吉田口ト云ヒ、南面ヲ大宮口ト云フ、其東面ハ直走ト呼
ヒ、山頂ヨリ直下一走シテ、中腰ニ至ルヘシ、此山ハ噴火
山ノ休廢セシ者ニシテ、頂上ニ洞穴アリ、即寶永中ニ、山
火大ニ噴出セシ時、東面ノ山腹ニ一峯ヲ起セリ、故ニ寶
永山ト呼フ、○岳ノ南麓ハ裾野ト呼ヒ、廣原六里ニ亘ル、
愛鷹山ハ其間ニ立チ、形ヲ以テ錫岳ト云フ、其麓モ亦平
坦數里、直ニ海濱ニ至ル、是ヲ浮島原ト云ヒ、原中ノ須戸

湖ハ、富士ハ湖ノ一ニシテ、今ハ富士沼ト呼フ、其海濱ヲ
田子浦ト云フ、○足柄箱根ノ連山ハ、富岳ノ東ヨリ連リ
テ、相摸ノ境ニ並ヒ、南ニ亘リテ、關東ノ經界ヲ限レリ、
此國ノ海ハ、伊豆遠江ノ間ニ夾リテ、一ノ内海ヲナセバ、
駿河海ノ稱アリ、其沿岸二十餘里、正中ハ田子浦ニシテ、
東ノ一灣ハ、伊豆ノ江梨崎、其前面ヲ抱キテ、江浦ト云フ、
黃瀬川ハ、足柄山ノ麓ヨリ來リ、伊豆ノ狩野川ト、共ニ注
キ入ル、其海口ヲ沼津港トナス、頗繁盛ナル城邑タリ、西
ニ入ル一灣ハ、清見瀉ト云ヒ、薩陀山及清見寺、龍華寺等、
共ニ富岳ヲ眺望スル勝地タリ、長洲一帶、其南ニ出テ、

白砂翠松相連ル一里餘、三保松原ト呼ヒ、風光明美ニシテ、亦有名ノ勝地タリ、興津江尻ノ兩川、共ニ灣内ニ注キ入り、江尻川ノ海口ヲ、清水港トナス、久能山港西ニ峙チテ、外海ニ臨ミ、其山麓ノ海濱ハ、平坦ニシテ、大井川ノ海口ニ至ル數里、即、釘浦ナリ、富士川ハ、羽前最上川、肥後球摩川ト、三急河ノ稱アリ、甲斐ヨリ來リ、富岳ノ西麓ヲ貫キテ、南ニ下リ、白絲瀧ノ下流ヲ并セテ、田子浦ニ注ク、國境ハ兩岸高ク逼リテ、其流瀑布ノ如シ、安倍川モ、亦急流ニシテ、南ニ流ル、二十里、葉科川ヲ并セ、静岡ヲ過キテ、海ニ入ル、大井川ハ、南流四

十里、海道一ノ大河ト稱スルモ、重山ノ溪谷相會流セル水路ナレハ、平時ハ徒步ニシテ、渡ルヘキモ、雨後ノ出水ニ逢ヘバ、河幅凡一里許、兩岸相辨セサルニ至ル、近來浮橋ノ設アリト云フ、安倍大井兩河ノ源泉ハ、甲斐信濃、遠江ト、相接セル深谷ニシテ、山岳相重リテ、國境ハ共ニ通路ナシ、大日岳七峯等相並ヒ、連山遠ニ南ニ亘リテ、兩河ノ流路ヲ分チ、高根山頗高シ、其脈ノ南端ヲ宇津谷トナス、官道ニ當ル山路ナリシガ、數年前洞道ヲ穿チテ、大ニ車馬通行ノ便ヲ開クト云フ、静岡ハ、中世國府ノ地ナレハ、府中ト稱シ、又、駿府ト呼ヒ

シガ、明治元年、今稱ニ改メタリ、人口三萬アリテ、國中ノ一都會トナス清水港ト相距ル三里、道路平坦ニシテ、運輸ノ便アリ、安倍川橋ハ、其長三百間、近來、新架セシ所ニシテ、頗壯大ナリト云フ、賤機山ハ、城北ノ高岡ニシテ、其麓ニ淺機沼アリ、下流ハ巴川ト呼フ、即江尻川ナリ、

甲斐四郡

富岳ノ後陰ニアル山國ニシテ、西北ニ面ハ、其ニ信濃ニ包レ、駒岳地藏岳鳳凰山七面山等、其ニ西境ニ並ヒテ、南隅ヲ身延山ト云フ、其中央ニ立チテ、最高キ者ヲ、白峯トナス、連山ノ際ハ、人跡ヲ通セサルヲ數里、北境モ、亦深山

相重リテ、八岳茅岳等相重リ、金峯山殊ニ峻秀ナリ、其後山ハ奥仙丈岳ト總稱シテ、武藏ノ秩父山ニ連リ、國境ヲ雁坂峠トナス、大菩薩峠ハ、其東南ナル山路ニシテ連山更ニ西南ニ亘リ、初鹿野山天目山萩原山笹子峠御坂峠等、相列リテ、内地ノ中間ヲ限リ、十二岳ト接シテ、富岳ノ麓ニ連ル、此山脈ヲ以テ、國內ハ、東西兩地ニ分レクリ、甲府ハ、西地ノ中央ナル一都會ニシテ、人口一萬五千アリ、其左右ハ、地勢平坦ニシテ、四方六七里ニ亘レリ、此國ハ、武田氏相傳フル十餘世、信玄ニ至リテ、近鄰數國ヲ威服セシモ、城郭ヲ設ケズ、居館ノ址ハ、古府ト稱シテ、甲府

ノ北ニ接セリ、巴山其上ニ立チテ、山下ニ酒折宮アリ、信
玄ノ子勝頼、始テ一城ヲ韭崎ニ築キ、新府ト云ヒシガ、大
正十年、織田氏ノ來リ攻ムル時、天目山ニ逃レテ、自殺セ
リ、然ル土人尚武田氏ノ遺徳ヲ慕フト云フ、今ノ府城ハ、
慶長中、淺野長政ガ、築造セシ所タリ、
水流四方ヨリ來ル者、平野ノ間ニ集リ、大門ニ至リテ、始
テ一河トナリ、南ニ流レテ、駿河ニ入ル、富士川是ナリ、其
源流最遠キ者ヲ、笛吹川トナス、又子酉川ト云フ、奥仙丈
岳ニ發源シ、西ニ向ヒテ、流レ下ル二十里、上流ハ兩崖絶
壁ニシテ、水流甚急ナリ、重川ハ源ヲ萩原山ニ發シ、日川

ハ天目山ニ出テ、石和川ハ、御坂峠ヨリ來レリ、荒川ハ金
峯山ノ水ヲ集メテ、南流十里、數川皆甲府ノ南ニ至リテ、
笛吹川ニ入ル、釜梨川ハ、駒岳ヨリ發シテ、教來石臺原ヲ
過キテ、東南ニ流ル、十七里、二邑ハ、信濃ノ驛路ニシテ、
其北岸ハ、斷崖數里、屏風ヲ列ヌルガ如ク、韭崎ニ至リテ
盡ク、七里岩ト云フ、鹽川ハ八岳ノ溪流ヲ并セテ、南ニ下
ル十一里、韭崎ヲ會流ノ處トナス、蘆川ハ十二岳ノ峽際
ニ發シテ、山谷ノ間ヲ穿チ下ル七里、蛾岳ノ下ヲ繞リ、其
山上ナル四尾連湖ノ下流ヲ并セテ、西南ニ流ル、笛吹釜
梨及蘆川ノ三河相會シテ、富士川ト稱ス、大門ハ又市川

ト云ヒ、其西岸ハ鰈澤ト相對シテ、甲府ヲ距ル四里、下流、
始テ舟行ヲ通スヘシ、奔流十八里ニシテ、海口ニ達ス、禹
瀨屏風岩等ハ、兩岸相逼リテ、水流急駿ナリ、慶長中河道
開鑿ノ功ヲ起シテ、始テ運輸ノ利ヲ開キシト云フ、
都留郡ハ、即國ノ東地ニシテ、郡内ト稱ス、平地甚少ク、相
摸ト接シテ、東南隅ナル道志秋山ハ、中世同國ニ屬ヒシ
トアリト云フ、水流皆東ニ流レテ、相摸川トナル、谷村ヲ
郡中ノ一邑トナシテ、笹子峠ヨリ、花咲猿橋ノ驛路ハ、武
藏路ニシテ、東京ニ通スル甲州街道タリ、又御坂峠ヨリ、
川口吉田山中ヲ經ル者ハ、駿河路ナリ、其正南ハ富士裾

野ト呼ヒテ、吉田ヲ登山ノ門口トナス、荒原七里ニ亘リ、
悉焼土ニシテ、五穀生セズ、其間ニ數箇ノ湖水アリ、西ニ
アル者、皆小ナリ、西湖精進湖本巢湖ト云フ、東ニアル者、
漸大ナリ、川口湖山中湖ト云フ、其ニ周回四里許、以上五
湖ハ、四尾連湖ト、其ニ富士八湖ニ屬ス、各湖ノ水、皆伏流
トナリテ、蘆川ニ入ル、惟山中湖ノ下流ハ、桂川トナリ、花
咲都留ノ諸川ヲ并セテ、東ニ流ル、十三里、是ヲ相摸川
トナス、其官道ニ一橋ヲ架ク、即猿橋ナリ、兩岸高ク逼リ
テ、深淵數十丈、左右ヨリ層架シテ、一柱ヲ用キズ、其製造
最奇巧ヲ極メタリト云フ、

伊豆四郡

南洋中ニ出ツル十五里、故ニ國名ヲ伊豆ト云フ、北ハ相摸駿河ニ接シ、足柄箱根ノ山脈、正北ヨリ來リテ、國ノ中夾ニ亘ル、其高ク且大ナル峯ヲ、天城山トナス、山中最良材ニ富ムト云フ、四郡ノ地、共ニ其山ヲ繞リテ、外洋ニ向フ、沿海六十里、最南ヲ石廊崎ト云ヒ、又、伊豆岬ト呼フ、奇巖高ク峙チテ、激浪常ニ怒號セリ、蓋富士山ノ脈、南ニ向ヒテ走ル者、此岬ニ至リテ切斷ス、而テ、其餘勢尚海上ニ出沒シテ、大島ヨリ、東南二百里ユ亘リ、小笠原群島ニ連リテ、遙ニ太平洋ニ散布セリ

川流ハ、皆天城山ヨリ出ツル者ナレドモ、大川ナシ、河津川、仁科川ハ、東西ニ分流シテ、各外洋ニ入ル、稻生澤川ハ、南ニ流レテ、下田港ニ注ケリ、狩野川ハ、稍大ナリ、北ニ流ル、十里、修禪寺川ト合ヒテ、北條ヲ過キ、駿河ニ入りテ、沼津港ニ注ク、河岸ノ地ハ、兩國ニ亘リテ、漸平坦ナリ、北條ノ東ヲ韭山ト云フ、伊勢長氏ノ城趾アリ、正北二里ヲ三島トナス、海道ノ驛路ニシテ、官幣大社アリテ、三島神社ト云フ、其地ハ、箱根山ノ麓ニ當リテ、嶺上ヲ相摸ノ境トナシ、西ハ平路一里半ニシテ、沼津ニ至ル、其海灣ハ、即江浦ニテ、一岬西ニ出ツル者ヲ、江梨崎トナス、

此國ハ火山ノ脈ニ當レバ、岩石大率焚餘ノ燒石ニシテ、其相疊リタル者ハ、皆黒キ山峯ヲナセリ、故ニ温泉甚多クシテ、浴場三十餘處ヲ設ク、中央ニ修禪寺湯島アリ、西岸ニ土肥アリ、東岸最盛ナリ、伊豆山ニ走湯アリ、伊東ニ和田、松原アリ、熱海殊ニ奇泉ニシテ、沸キ出ツルヲ晝夜六回、其期ヲ違ヘス、且此地西北ハ玄峯、弦卷山、日金山等、相列リテ、伊豆山ニ接シ、東南ハ網代ノ灣、川名ノ岬、相抱キテ、相摸灘ニ向ヒ、初島其前面ニ横リタリ、下田ハ、有名ノ良港ニシテ、海口ハ兩岸相夾ミテ、雩鳩島其中央ニ立ち、灣内水深クシテ、大船巨艦モ碇泊スヘシ、

港外又小灣アリテ、枅崎ト云フ、爪木崎正東ニ突出シ、大島ヲ中間ニ置キテ、遙ニ安房ノ岬ト相望ム、港ヨリ南ハ、海岸ニ沿ヒテ、石廊崎ニ至ル三里、其間モ亦岩礁並ヒ峙チテ、潮流急激ナリ、神子元島ニ燈臺ヲ建テ、暗夜ノ舟行ヲシテ、此險ニ觸レサラシムト云フ、七島ハ、大島、新島、利島、及八丈、神津、三宅、三倉ヲ云フ、南洋中ノ群島ニシテ、下田ノ東南四十餘里ノ間ニ並ビ、其島峯ハ、大率噴火山ニシテ、其高ハ二百丈ニ及ヘリ、其近クシテ且大ナル者ヲ、大島トナス、周回十里、爪木崎ノ正東八里半ニアリ、三原山常ニ硫燄ヲ吐ク、其沿崖ハ、絶壁ニ

シテ東北ノ小灣ヲ、波浮ト呼ヒ、僅ニ舟泊ノ用ニ堪フ、利島ハ、大島ノ西南四里ニアリ、宮塚山其中央ニ聳エ、島中清泉ニ乏シク、潮水雨水ヲ用キルト云フ、新島ハ、周回六里、下田ノ東南十里ニ立チ、式根島其南ニ接スレドモ、居民ナシ、惟樹木繁生シテ、新材ニ富メリ、此兩島ハ、元、同島ナリシガ、震災ニ遇ヒテ、兩斷セシト云フ、神津島ハ、天城山高ク秀テ、全峯白砂ニシテ、雪山ノ如シ、新島ノ南三里ヲ隔テ、其間ハ、恩馳、祇苗等ノ屬嶼アルモ、皆岩礁ノ屹立セル者ナリ、三宅島ハ、大島ニ次ク大島ニシテ、周回八里、其峯ハ雄山ト呼ヘル噴火山ニシテ、新島ト相距ル十

里、其正西ノ海中ニ、巨岩ノ並立スル者ヲ、三本岳ト云フ、三、倉島ハ、正南五里ニ立チ、周回七里ナレドモ、四面絶壁ニシテ、舟ヲ繫ク能ハズ、多ク黄楊樹ヲ産スルノミ、總テ此群島ハ、海中ノ絶地ニシテ、風土荒僻ナレハ、居民合セテ一萬ニ充タズ、僅ニ耕漁ヲ常務トスレドモ、其間又蠶桑ノ業アリト云フ、八丈島ハ、小島青島ノ兩屬島アリ、三島ノ人口一萬餘ニシテ、女ハ男ニ三倍セリト云フ、氣候ノ暖熱ナルト、民俗ノ淳樸ナルハ、自絶島中ノ一佳郷タリ、男ハ農耕漁樵ヲ事トシ、女ハ養蠶紡織ヲ業トシテ、最上ノ絹布、及、紬ヲ産

物トナス、下田ノ正南四十七里ヲ隔テ、三倉島ト相距
ル二十里、其中間ハ、海水東ニ奔リテ、潮流恰急河ノ如シ、
其幅二十町許、舟人ハ黑瀬川ト呼ヒテ、最警戒セル處ト
云フ、八丈島ハ、周回十里、沿岸悉斷崖ニシテ、舟泊ニ便ナ
ラズ、東山西山ノ兩峯アリ、西山特モ高峻ニシテ、直立ニ
百八十丈、甑峯ト云ヒ、形ヲ以テ、八丈富士ト呼フ、亦噴火
山ナリ、小島ノ峯ハ、其西一里ニ立チ、相對シテ、其高ヲ爭
フ、島ノ沿回二里許、八郎為朝ノ祠アリテ、島民ノ尊崇ス
ル處トス、青島ハ、正南十一里ニ孤立シ、周回五里、古ハ鬼
島ト呼ヒシ者、是ナリ、往年山火噴出シテ、全島悉燒滅セ

シガ、近來再開墾ニ就キテ、二百五十口ノ居民アリト云
フ、

産物

全道ハ山海ノ産、共ニ多クシテ、製造ノ品モ、亦夥シ、沿海
ノ諸國ハ、氣候温暖ニシテ、米穀及茶、木綿ニ宜シ、駿河ノ
安倍茶、伊勢ノ菰野茶、其名頗高シ、尾張米、三河木綿、共ニ
精良ノ品ト稱ス、知多郡ハ、魚鹽ノ利、殊ニ盛ニシテ、全道
中ノ沃土タリ、宮重大根ハ、獨尾張名物ノ名ヲ占ム、桑名
ノ時雨蛤、佐久島ノ海鼠腸、及濱名納豆等ハ、皆各地ノ異
味トス、伊勢志摩ハ、鯉、鱒、鰻、鰩、及石花菜、鹿角菜、鹿尾藻等

海産アリ、山中ノ出ス所ハ、伊賀ノ磨砂、伊勢ノ石灰、尾張ノ紫石、及三河ノ御影石、名倉砥、甲斐ノ兩畑石、伊豆ノ小松原石等ニシテ、鑛物ハ、甲斐、伊豆ニ金山アリ、近來ハ遠江ヨリ、石腦油ヲ出ス、頗多シト云フ、材木ハ、諸國共ニ繁生スルモ、遠江、伊豆ノ山中、最良材、巨榦ニ富ム、甲斐ハ、山間ニ夾レハ、葡萄、柿、栗、梨、桃、銀杏、石榴、林檎ノ八珍果ヲ、名産トナス、伊豆ハ、海中ニ出テ、魚介ノ類、殊ニ多ク、山中又、薪炭ヲ出ス、七島ハ、推實、椿油、桑板、黃楊等アリ、海魚ハ、鹽物干物トシテ、諸方ニ輸送ス、是ヲ島物ト稱セリ、天城山ノ山葵、熱海ノ雁皮紙ハ、天生、人造共ニ佳ナリ、製

造ノ品ハ、菜種油、繭絲等、諸國共ニ多キモ、尾張ノ燒物ヲ、第一トナス、瀬戸ノ産、極テ盛ナレハ、瀬戸物ノ名、遂ニ磁器ノ定稱トナルニ至ル、其他、亦豊樂燒、七寶燒、常滑燒アリ、伊勢ノ萬古燒モ、亦別様ノ良品ニシテ、伊賀燒ハ、古ヨリ茶家ノ賞翫スル所タリ、漆器ハ、山田ノ春慶塗、靜岡ノ駿府塗等ニシテ、駿河半紙、遠州墨表モ、亦産出ノ多キ者トナス、酒及醋醬油ハ、知多郡ヲ推シ、味噌ハ、白子、岡崎ノ兩地ヲ盛ナリトナス、名古屋ハ、扇、提灯、及剪刀、剃刀、鋸、鑷等ノ名産アリ、各地ノ商店、此諸品ヲ賣ル者ヲ、名古屋店ト呼フニ至ル、駿府細工ハ、竹器アリ、寄木アリテ、共ニ精

細ヲ極ム、形紙ハ伊勢ノ寺家ヨリ出ス所ノ者、全國ノ漆工、此紙ヲ用キザルナシ、又同國ノ稻木ニ製セル紙烟草袋ハ、參宮人ノ必購フ者ニシテ、其名亦四方ニ聞ユ、布帛ハ、諸國各種ノ織物アリ、津綾子、松坂縞、鳴海絞、掛川葛布等ニシテ、名古屋ハ、棧留及袴地ヲ出シ、静岡ノ太布ハ、賤機織ノ稱アリ、甲斐ノ郡内ハ、養蠶ノ業、最盛ニシテ、繻子、絹、太織ノ産アレドモ、皆生絹ヲ良品トナセバ、甲斐絹ノ略稱トナスヘシ、而テ、八丈織ハ、最精巧ニシテ、黒八丈、黄八丈等、他國ノ模造スル者、甚多キモ、遂ニ其巧ヲ奪フ能ハズ、實ニ絶島中ノ一大良品ト謂フヘシ、

小笠原島

小笠原島ハ、大平洋中ニ散布セル十餘箇ノ群島ニシテ、北緯二十六度半ヨリ、二十七度半ノ間ニ列リ、伊豆岬ノ東南二百三十里ニ在リテ、八丈島ト、相距ル百八十里、群島ノ形勢ハ、南北ニ亘リテ、父島、母島及巴連島ノ三區別ヲナセリ、文祿二年、小笠原貞頼始テ此島ヲ發見シ、諸島ノ名稱ヲ定メ、且木標ヲ建テ、其所領タルヲ記ス、故ニ此名アリ、然ル、爾來居民ナケレバ、世ニ人無島ト稱シ、或ハ巽無人島ト呼ベリ、天保中ヨリ、外國人ノ來リ住スル者、稍多シ、文久中、幕府吏人ヲ遣リテ、其地ヲ開カシム

レド、僅ニ二年ニシテ中止ス、明治九年、諸島我全屬ノ地ト定リタレバ、專任ノ官員ヲ在勤セシメテ、大ニ開拓ノ業ヲ起シ、現今ハ内外ノ殖民、百二十餘口ニ至レリ、父島ハ、群島ノ中央ニ在リテ、周回九里、旭山、鎗山高ク峙チ、島中山谷相列リテ、樹木鬱蒼タリ、西岸ノ中央ヲ、袋澤ト云ヒ、漸平坦ナル處ニシテ、時雨籠布籠等ノ勝アリ、諸水相集リテ、西ニ流ル、者ヲ、八瀬川ト云フ、○二見港ハ、西北ノ大灣ニシテ、群島中ノ良港タリ、灣内方二十餘町、大村、奥村、扇浦洲等ノ諸村、灣ヲ環リテ、居家住民アリ、扇浦ニ官舎ヲ置キテ、諸島ノ治所トス、港口ノ一島ヲ、野羊

島ト云ヒ、飯盛山高クシテ、入港ノ標準トナル、岸下ニ三洞門アリテ、頗奇觀タリ、○巽港ハ、南端ノ小灣ニシテ、南等巽等相抱キテ、遙ニ母島ノ乾等ニ對セリ、○屬島ノ大ナル者ヲ、兄島、弟島トス、兄島ハ、周回四里、海峽ヲ夾ミテ、父島ノ北ニ接シ、見返山野陣瀆瀧浦等アリ、弟島モ、亦其北ニ峙チテ、沿回三里ナルモ、斷崖ニシテ、攀ヅベカラズ、此他ハ、東島、南島、西島、北島等、各其方位ニ回リテ、此名アリ、皆巨巖絶壁ニシテ、南島僅ニ袋港アリ、母島ハ、父島ノ南十一里ヲ隔テ、周回十五里ニ及ブモ、良港ナキヲ以テ、其利遙ニ父島ニ劣レリ、乳房山、劍尖山、

相並ビテ、林樹繁茂セリ、西南灣ヲ沖村港ト云ヒテ、居民
アリ、東岸ノ石門寺ハ、石門三箇、崖下ニ並ビテ、海潮ヲ通
ゼリ、北港ハ、乾寺其西ヲ抱クモ、亦大船ヲ泊ス可ラズ、○
屬島ハ、向島、平島、姪島、姪島等、皆東南ニ並立セリ、
巴連島ハ、父島ノ北、十餘里ニ峙チ、兩島相並ビテ、傍ニ數
嶼アリ、皆岩石ノ重疊セル者ニテ、今尚無人ノ群島タリ、
産物ハ、山ニ野羊、野豚、野雞、信天翁、大蝙蝠アリ、海ニ鯨、鱈、
鮫、章魚、龍蝦、鰻、鱈、樹木ハ、杪樺、椴、柵桑、芭蕉、水蠟樹等
ニシテ、鱒木最奇ナリ、甘薯、甘蔗、玉蜀黍、馬鈴薯、蘿蔔、高瓜、
烟草ノ類ハ、皆移植ノ物ナレド、共ニ克ク繁殖セリ、

關東

關東ハ、相模、武藏、安房、上總、下總、常陸、及上野、下野ノ八國
ヲ、總稱スル者ニシテ、古ヨリ、足柄坂ノ東ナルヲ以テ、坂
東ヲ其正稱トナス、又山道ハ、碓氷山ノ東ナレバ、山東ト
呼ビテ、一處兩名アリ、中世以來、又箱根ノ山道ヲ開キテ、
共ニ關門ノ設アレバ、遂ニ今稱ヲ用キテ、常ニ關東八州
ト呼ブ、且其地形、風俗、相同ジケレバ、海山兩道ニ分屬ス
ルモ、上世ヨリ、自一區域ヲナセリ、故ニ今又關東ト題シ
テ、八國ヲ一部トナス、蓋其地ハ、東南共ニ大洋ニ向ヒテ、
西北ハ、皆連山、圍メリ、中央ハ、廣野五十里ニ亘リテ、平

垣ナルヲ、全國中、又其比ナク、謂ユル八州ノ平野ト唱フ
ル者、是ナリ、利根川、其中間ヲ横流スル大河ナレバ、坂東
太郎ノ稱アリ、又、江戸海ハ、海水正南ヨリ來リテ、安房相
摸ノ間ニ入り、大ナル内海ヲナシテ、武藏及上總下總ノ
三國ニ亘リ、南北二十里、沿回五十里許、其東西ハ、五里ヨ
リ十里ニ及ブ、海濱大率淺沙ニシテ、港灣ノ地ニ乏シケ
レトモ、西岸ニ就キテ、横濱横須賀浦賀ノ三港相並ビ、頗
碇泊ノ利アリ、江戸ハ、其西北隅ニ臨ム大都會ナレバ、直
ニ其名ヲ冠ラセテ内海ノ稱呼ヲ定ムト云フ、
相摸 九郡

雨降山ハ、國ノ中央ニ峙チテ、其東南ハ、山圍旣ニ盡キタ
レバ、常ニ大山ト呼ブ、丹澤山其上ニ立チテ、更ニ高シ、後
陰ハ津久井郡ニシテ、甲斐ノ郡内ト相接シ、村里ハ皆山
谷ノ間ニアリ、北境ハ、武藏ノ界ニ、小佛峠アリテ、甲州街
道ノ通路トナス、○足柄山ハ、孫佛猪鼻ノ諸山ト、西境ニ
相並ビテ、駿河ノ界ニ連ル、即上世ノ官道ナリ、其脈南ニ
亘リテ、伊豆ニ跨ル者ヲ、箱根山トナス、海道一ノ險坂ニ
シテ、八里ノ大峠タリ、山上ハ、駒岳二子山等相峙チテ、周
回五里ノ湖水アリ、富士八湖ノ一ニシテ、蘆湖ト云フ、下
流ハ、北ヨリ東ニ下リテ、早川ト呼ビ、小田原ニ至リテ、海

ニ入ル、其山中ハ、川ノ南岸ニ就キテ、温泉甚多ク、箱根七湯ト呼ビテ、湯本宮下ノ兩處、最盛ナリト云フ、桂川ハ、甲斐ヨリ來リテ、東ニ流レ、又、同國ノ南隅ニ出ツル道志川ヲ、津久井ノ山間ニ合セテ、相模川ト云フ、轉ジテ南ニ流ルレバ、其沿岸漸平坦ニシテ、相模原ニ沿ヒ、厚木ニ至リテ、丹澤山ニ發源セル中津川ヲ并セリ、其流十ハ里、官道ニ當ル處ヲ、馬入川ト云フ、國中第一ノ大河ナレバ、國名ヲ呼ビテ、其定稱トナスト云フ、界川ハ、小佛峠ヨリ出デ、國境ニ沿ヒテ、東ニ流ル、故ニ此名アリ、亦南ニ轉ジテ、藤澤ヲ過ギ、片瀬川ト呼ビテ、海ニ入ル、金目川モ、

亦其源ヲ丹澤山ニ發シテ、其南麓ヲ環リ下ル、玉川、鈴川ハ、其ニ大山ノ水ヲ集メ、三川相會シテ、花水川ト云ヒ、平塚大磯ノ間ニ注グ、酒匂川ハ、駿河甲斐ノ境ニ發シ、足柄山中ノ衆流ト、相合ヒテ、小田原ノ東ニ入ル、此數川ノ海口ハ、平砂相連リテ、東ハ鎌倉ヨリ、西ハ小田原ニ至ル、十里許、中央ヲ淘綾磯ト呼ビテ、大磯小磯等ノ諸濱アリ、三浦郡其東ヲ限リ、西ハ石橋山真鶴崎ヨリ、伊豆ニ亘リテ、其海上ヲ相模灘ト云フ、三浦郡ハ、正南ニ出ヅル七里許、内外海ノ間ヲ限レリ、其端ヲ三崎ト云ヒテ、城島其前面ニ横ル、故ニ郡ノ東面ハ、

江戸海ニ臨ミ、最南ノ劍崎ハ、安房ノ大武崎ト、相望ミテ、其海門ヲ夾ム、浦賀港ハ、内海ノ要口ニシテ、灣内狭小ナレドモ、舟舶常ニ相集レリ、港北ノ一岬ヲ、觀音崎ト云ヒ、上總ノ富津洲ト、斜ニ相向ヒテ、直徑一里半、海幅ノ最相逼リタル處ニテ、内海ノ咽喉ト云フベシ、岬北ヲ、横須賀灣トナス、造船處ノ設ケテ、深塹兩處アリ、長各百間許、軍艦巨舶ノ製造修理、共ニ其工作ニ堪ヘテ、東洋中最盛大ナル工場タリ、其北ハ直ニ武藏ノ金澤ニ連リテ、横濱ト相距ル海上七里、常ニ小汽船ノ往復アリ、小田原ハ、一都會ニシテ、人口一萬二千アリ、其地、山ヲ負

ヒ、海ニ臨ミ、頗要害ノ地ナレバ、後北條氏、此城ニ居テ、關東ノ大半ヲ領スル五世、天正中、豐臣秀吉、征討ノ師ヲ率キ、今圍五月ニシテ、纔ニ能ク陷レシト云フ、正南ノ石橋山ハ、即秀吉ガ本營ヲ置キシ處タリ、其麓ハ、海岸一條ノ道路ヲ、根府川ト云ヒテ、伊豆ノ通路トス、又東海道ノ驛路ハ、小田原ヨリ、大磯藤澤ヲ經テ、武藏ニ入り、東京ニ至ル二十二里、國境ナル品濃坂ニ、里餘ハ、坂路アルノミ、○鎌倉ハ、壽永中、源賴朝ノ幕府ヲ開キシ舊墟ニシテ、北條氏、足利氏、相繼ギテ、此地ニ居ル三百年、故ニ大家名族ノ宅趾等、尚比企谷扇谷等ノ際ニ存セリ、鶴岡八幡宮ハ、賴

朝が五世ノ祖、賴義、康平中、創建セシ舊社ニシテ、爾來皆
尊崇セル所タレバ、社壇極テ壯麗ナリ、其他、建長寺、圓覺
寺等、鎌倉五山ト稱セシ巨寺アリ、鎌倉宮ハ、護良親王ヲ
祀ル官幣中社ニシテ、明治二年ノ新建タリ、街市ハ、雪下
ト云ヒテ、海濱ヲ由井濱ト云フ、其西ハ、稻村崎、七里濱、及
腰越、片瀬ノ諸村、相連リテ、淘綾磯ニ亘レリ、江島ハ、片瀬
ノ海中ニ峙チテ、岸ヲ距ル五町、一條ノ沙路、陸地ニ通ス
レバ、行步シテ達スベシ、島上ハ、奇巖危石、相重リテ、崖下
ニ洞窟アリ、其東京近地ノ名勝タルヲ以テ、都下ノ遊人、
常ニ鎌倉ト、共ニ遊覽ノ處トナスト云フ、

武藏 二十二郡

秩父山ハ、正西ニ重リテ、信濃上野ニ接シ、武甲山三峯兩
神山等、最高シ、山脈南ニ亘リテ、甲斐ノ境ヲ限リ、大岳御
岳アリ、相摸ノ界ニ、小佛崎、高尾山アリ、遂ニ長岡一帯、東
南ニ連リテ、國境ニ亘ル數里、官道ノ坂路ハ、信濃坂ニシ
テ、金澤六浦ニ至リテ、内海ノ岸ニ盡ク、
多摩川ハ、甲斐信濃ノ際ヨリ來リテ、南ニ流シ、青梅羽邑
ヲ過ギテ、秋川、淺川ヲ并ス、以下ハ、兩岸皆平坦ニシテ、南
流、三十里、瀬淺クシテ、水極メテ清冷ナリ、日野二子ヲ過
ギテ、川崎ニ至ル、官道ニ六郷橋ヲ架ケ、又、汽車通路ノ大

地誌要略 卷之二
橋アリ、橋下ヨリ羽田ニ至リテ、内海ニ入ル。○荒川ハ秩父山中ノ水ヲ集メ、東北ニ流レテ、大宮ヲ過グ、郡中ノ大邑ヲリ、水流ハ、東ニ轉ジテ、漸山圍ヲ離レ、平野ノ間ヲ環リテ、熊谷ニ至リ、始テ舟運アリ、又、支流ヲ分テ、綾瀨川ト云ヒ、共ニ東南ニ流ル、本流ノ下流ハ、即、豊島川ナリ、戸田橋ヲ架ケテ、中山道ノ官道トナス、此川ハ、環流屈曲スレバ、其流五十餘里ニ及ブト云フ、武藏野ハ、荒川多摩川兩河ノ間ヲ呼ブ者ニシテ、南北十里許、西ハ秩父山ヲ限リ、東ハ江戸海ノ涯ニ至リ、地形平坦ナルヲ十餘里、狭山、野火留及、小手差原、分倍河原等ノ

名處古戰場アリ、上世ヨリ、惟廣漠タル原野ナリシガ、徳川氏ノ入國以來、開墾ノ功、歳々相續キタレバ、田疇開ケテ、村里相連ルニ至ル、入間川高麗川、共ニ秩父山ヨリ出テ、平野ノ間ヲ環流スルヲ十餘里、川越ノ西ニ至リテ、相合ヒ、共ニ荒川ニ入ル、川越ハ頗繁盛ナル城邑ニシテ、東京ト相距ル十里餘、又原中ノ一路、西ニ亘ル者ヲ、甲州街道トナス、内藤新宿ヨリ、府中白野ヲ經テ、八王子驛ニ至ル十二里、其地ハ、小佛高尾兩山ノ麓ニ接スレドモ、亦繁盛ナル一邑ニシテ、其近傍ノ村里、皆布帛ノ産業ヲ務ムレバ、總テ八王子織ト稱セリ、玉川上水ノ源流ハ、羽邑

ヨリ、多摩川ヲ分チテ、長渠ヲ新宿ニ通ゼル者ニシテ、渠ノ兩岸ニ、櫻樹アリ、小金井ノ櫻ト呼ビテ、東京ヲ距ル數里ナルモ、開花ノ候、都人ノ來リ賞スル者、頗多シト云フ、其北ニ接セル小池ヲ、井頭池トナス、池水清冷ニシテ、玉川ニ劣ラズ、即、神田上水ノ源泉タリ、荒川ノ東北モ、亦、地勢平坦ナルヲ十餘里、東ハ下總ニ連リ、北ハ上野ニ亘リ、謂ユル八州ノ平野ノ中央ニシテ、利根川、其中間ヲ流レテ、西ヨリ來リ、上野ノ境ヲ限リテ、栗橋ヲ過ギ、分レテ、南ニ流ル、者ヲ、江戸川ト云ヒ、下總ト境界ヲ分チテ、内海ニ入ル、綾瀨川ハ、元荒川ト云ヒ、中川

ハ、上流ヲ古利根川ト稱ス、共ニ其兩河ノ支流ニシテ、且、其中間ヲ流レテ、屈曲分合スレバ、運漕灌漑ノ利アルモ、沿岸ノ地、多クハ卑濕ニシテ、時ニ水害ニ免ル能ハズト云フ、中山道ノ驛路ハ、二十五里、浦和大宮熊谷ヲ大邑トナス、熊谷ハ最繁盛ナル街市ニシテ、其東ニ行田岩槻ノ二城市アリ、大宮ノ冰川神社ハ、武藏ノ一宮ト稱セシ古社ナレハ、東京遷都ノ後、陞セテ官幣大社トナスト云フ、陸羽街道ハ、千住ヨリ、越谷幸手ヲ過ギテ、栗橋ニ至ル十五里、利根川ノ官渡ヲ、房川渡ト呼ビ、河岸ノ長堤ヲ行幸堤ト云フ、明治九年、奥羽巡幸ノ日、其功ヲ賞シテ、命名セ

ラレタル所ナリト云フ、
 内海ノ涯ハ、江戸川ノ海口ヲ、堀江ト云ヒ、一江砂村ノ諸
 濱、相連リテ、深川ノ洲崎ニ接ス、即東京ノ東隅ナリ、東京
 ノ南ハ、品川ヨリ、大森羽田ノ諸邑相亘レリ、其海底ハ、皆
 淺沙、遠ク亘リテ、舟泊ニ利アラズ、羽田洲ハ、本牧崎ト、相
 望ミテ、横濱港ヲ抱ケリ、本牧以南ハ、根岸杉田金澤ノ諸
 濱、相並ビ、相摸ニ亘リテ、海岸稍深シト云フ、杉田ハ、梅花
 ノ勝地ニシテ、金澤ハ、灣内ノ景色頗美ナレバ、常ニ遊人
 ノ來リ賞スル處ナリト云フ、
 横濱ハ、五港ノ一ニシテ、六萬四千ノ人口アリ、灣内水深

クシテ、數十ノ大艦巨舶、常ニ碇泊セリ、安政六年、始テ此
 地ヲ開キテ、海外諸國ノ互市交易場トナス、街市ハ、灣ノ
 南岸ニ臨ミ、東ヲ本村石川トナシ、西ヲ野毛戸部トナス、
 南ハ長岡、相連リテ、根岸ノ海濱ヲ限ル、北ハ海灣ヲ隔テ
 、神奈川驛ト、相對シテ、直徑一里許、灣ノ中央ニ、鐵道ニ
 築キテ、櫻木町高島町等、街市相連レリ、○外國人ノ商館
 ハ、市中ノ南半、及南方ノ岡上ニ在リテ、鐵閣石樓、皆高大
 ノ營造タリ、其寄留セル人員、三千餘口アリト云フ、此地
 ハ、開港場ノ第一ニシテ、道路正シク、街衢整ヒタリ、海岸
 ニ、東海鎮守府ヲ置キテ、海軍艦隊ヲ監督シ、又燈臺局及

汽車休停館等アリ、港内ノ溝渠ハ、大率鐵橋右橋ヲ架ケテ、通路トナシ、吉田橋最大ナリ、野毛山ハ、大神宮ノ社壇アレバ、伊勢山ト呼ビテ、山上ヲ公園トナス、○神奈川ハ、東海道ノ大邑ニシテ、東北ハ、川崎六郷ヲ經テ、品川ト相距ル五里、西南ハ、信濃坂ニ至ル、僅ニ二里餘ヲ隔ツルノ

安房 四郡

大洋中ニ突出シテ、北ハ上總ト相連リタル半島國タリ、國內ハ、岩石相重リタル山岳ニシテ、海岸モ亦高ク峙チテ、岩礁並ビ列レリ、沿海ニ十餘里、最南ヲ白濱ト云ヒ、其

岬ヲ野島崎トナス、岬東ヨリ、上總ニ亘リテ、海上ハ潮流殊ニ急ナレバ、舟人ハ、房州沖ト呼ビテ、相戒ムル處ナリト云フ、○洲崎ハ、白濱ヨリ、西ニ出ヅル五里、遙ニ伊豆ノ介木崎ト相望ヌ、岬陰ハ、大武寄ト、海灣ヲ抱キテ、沿回五里、那古北條ノ諸邑相臨ミテ、館山ヲ舟泊ノ處トナス、大武寄ヨリ北ハ、相摸ト相對シテ、内海ノ岸ニ亘リ、海岸ノ一邑ヲ、勝山ト云フ、富山、鋸山、其上ニ並ビ峙ツ、鋸山ハ、國境ニ跨リテ、直ニ海岸ニ臨ミ、山上ハ十國一見ノ勝アリ、其峯並列シテ、鋸齒ノ如クナレバ、此名アリト云フ、其後山ハ、横根花立清澄ノ諸山相連リテ、東ニ亘リ、上總ノ

境ヲ限リテ、東洋ノ岸ニ盡ク、其岸ヲ小湊ト云ヒテ、上總ノ興津港ト、相接シ、灣内狹小ナレドモ、東洋中ノ港泊ナリ、○國中ノ水流ハ、共ニ細流ニシテ、舟運ノ利ナシ、北境ノ山谷ニ發源スル者、各集リテ兩川トナル、東ニ流ル者ヲ、加茂川ト云フ、其河口ハ、磯村前原ノ諸濱、相連リテ、小湊ニ接ス、波太島、辨天島等ノ岩礁、其前ニ屹立セリ、湊川ハ、又、平久里川ト云ヒ、南ニ流レテ、那古ニ注ク、

上總 九郡

東ハ大洋ニ向ヒ、西ハ内海ニ臨ミ、大東崎、洋中ニ突出シテ、其根尚海底ニ亘ル一里、東洋第一ノ險ト云フ、内海

モ、亦富津洲アリテ、其長三里餘ニ及ブ、此洲ハ、潮満ツレバ隠ル、故ニ隱洲ト云ヒ、浮標ヲ置キテ、行舟ノ標準トナス、此兩處ハ、航海者ノ最警戒セル處タリ、此國ノ南半ハ、皆山谷ニシテ、安房ト相接シ、鹿野山、鬼淡山等、並ビ峙テ、内海ニ臨ミ、其後山ハ、山林相連リテ、多ク薪炭ヲ出セリ、國ノ北方ハ、下總ニ亘リテ、平野ノ際、殆境界ナシ、原中ノ一邑ヲ東金ト云フ、東洋ノ岸ハ、大東崎ヲ、山野ノ經界トナシテ、以南ハ、海岸高ケレドモ、勝浦興津ノ二港アリ、岬ヨリ北ハ、平沙一帯、下總ニ連ル十六里許、其形弓ノ如シ、矢刺濱ト云ヒ、常ニ九十九里ト呼ブ、蓋

中世ノ里程ニ依ル者ナリ、其沿海ノ地ハ瘠土ニシテ、田
亦少ク、居民皆海獵ヲ常務トナスト云フ、
川流ハ、皆南方ノ山谷ヨリ出デ、東西ニ分レ流ル、各
二十里許、大東寄ヲ夾ミテ、注キ入ル者ハ、南ヲ大多喜川
ト云ヒ、北ヲ一宮川ト云フ、直ニ外洋ニ注グヲ以テ、河運
ノ便却テ少シト云フ、養老川、小櫃川、小糸川ハ、其ニ内海
ニ入ル、皆行舟ヲ通ジテ、運漕常ニ多シ、其海濱ハ、姊崎五
井等、諸濱相連リ、木更津ハ、頗繁盛ナル港泊ニシテ、東京
ト、相距ル十三里、通船、日夜相往來シテ、物貨ノ出入、皆此
港ヨリ輸送スト云フ、

下總 十二郡

利根川ハ、八州第一ノ大河ナレバ、坂東太郎ノ稱アリ、源
ヨリ海口ニ至ル、七十餘里、千曲川、北上川ニ次ギテ、本島
第三ノ長流タリ、上野武藏ノ際ヨリ來リテ、關宿ニ至リ、
分レテ兩川トナル、其南ニ流ル、者ハ、支流ニシテ、即江
戸川ナリ、本流ハ、東南ニ流レ、絹川、小貝川ヲ并セ、取手渡
ヲ、水戸街道ノ渡津トナス、其流十里餘、是ヲ中利根川ト
呼ブ、下利根川ハ、正東ニ流ル、二十餘里、佐原、小見川ヲ
過ダレバ、河幅ノ廣キ一、殆一里、又、支流ヲ北ニ分チ、小貝
川ノ分流ト、其ニ常陸ノ境ヲ限ル者ヲ、新利根川ト呼ビ

テ、同國ノ霞浦ニ入り、又横利根北利根等ノ支流、縦横ニ環リ流レテ、其間ニ夾ル村里ハ、十六島ノ稱アリ、遂ニ霞浦及西浦ノ兩湖水ノ下流ト、其ニ又本川ニ入り、國境ヲ限リテ、東洋ニ入ル、其海口ヲ、銚子港ト云フ、此港ハ東洋中ノ大港ニシテ、飯沼今宮及松岸等、街市相連ル一里、人口一萬七千アリ、港口ハ、常陸ノ羽崎ト相夾ミ、巨岩並ビ立チテ、水流迸リ注ゲバ、其狀ニ因リテ、銚子口ノ名アリト云フ、犬吠崎ハ、港口ヨリ、正東ニ突出セル大岬ニシテ、岩礁屹立シ、其大ナル者ヲ、海獺島ト云フ、○江戸川ハ、古名ヲ、大井川ト云フ、關宿ヨリ分レテ、南ニ流ル、十八里、

野田流山ヲ過ギテ、松戸ニ至ル、亦水戸街道ノ官渡ナリ、下流ハ、國府臺ノ崖下ヲ流レ、市川行徳ヲ過ギテ、内海ニ入ル、○利根川ノ沿岸ハ、土地殊ニ卑濕ニシテ、湖沼甚多シ、河北ノ長井戸沼、鵠戸沼、菅生沼等ハ、皆中利根川ニ注ギ、河南ノ印幡沼、手賀沼、長沼ハ、其ニ下利根ニ入ル、印幡沼頗大ナリ、國ノ中央ニ亘ル七里ニシテ、周回十二里アリ、其形屈曲レテ、南沼北沼ニ分レタリ、此國ハ、地形平坦ニシテ、岡阜ナク、岩石ナシ、東西二十餘里、南北十八里、東ハ大洋ニ向ヒ、犬吠崎ヨリ、南ニ亘リタル海濱ハ、即九十九里ニシテ、栗山川ヲ國境トナス、西南

ハ、内海ニ臨ミ、船橋千葉ノ諸邑相連リテ、上總ノ五井、姊崎ニ亘リ、村田川ヲ兩國ノ境トナス、兩海濱ノ間ハ、原野遠ク連リ、小間子取香ノ兩野ハ、兩國ニ亘リテ、牧場ヲ置キ、常ニ野馬數百匹ノ飼フト云フ、國ノ中央モ、亦小金原習志野六方原等、皆數里ノ廣原アレドモ、近來大ニ開墾ニ就ケリ、習志野ハ、正伯原ト呼ビシガ、陸軍演習場トナリ、明治六年、車駕行幸アリテ、其練兵ヲ親覽セラレシ時、此名ヲ賜ヒシト云フ、○佐倉ハ、原野ノ中央ナル城邑ニシテ、印幡沼ノ南岸ニ臨メリ、千葉ト相距ル五里、千葉ハ、登戸寒川ト相連リテ、江戸海ノ東北隅ニ並ビ、頗繁盛ナ

ル一邑ニシテ、千葉氏二十餘世ノ居城趾、今尚存シテ、猪鼻山ト云フ、千葉神社、千葉寺等、皆同氏尊崇セシ處ニ係レリ、成田不動堂ハ、佐倉ノ東三里ニアリ、又東北九里ヲ香取神宮トナス、常陸ノ鹿島ト、共ニ二千餘年ノ古社ニシテ、共ニ官幣大社タリ、社前ハ下利根川ニ臨ミテ、津宮ト云ヒ、佐原ト相距ル一里ニ充タズト云フ、猿島結城岡田豊田ノ四郡ハ、利根川ノ北ニ並ビ、下野常陸ト土地相交リテ、國境殆經界ナシ、北隅ヲ結城トナシ、西隅ヲ古河トナス、共ニ繁盛ナル城邑ニシテ、古河ハ陸羽街道ノ驛路ニ當リ、南ハ一里ニシテ、房川渡ニ至リ、北

地誌要略 卷之二
ハ下野ノ宇津宮ト、相距ル十二里、絹川ハ、下野ヨリ來リ、
又同國ノ田川ヲ結城ニ并セテ、久保田水海道ヲ過ギ、南
ニ流ル、十一里、小貝川ハ、常陸ヨリ來リテ、國境ニ沿ヒ、
東南ニ環リ流ル、十四里ニシテ、利根川ニ入ル、其會流
ノ處ヲ、中下利根川ノ經界トナスト云フ、
常陸 十一郡

關東八州ノ東北隅ニシテ、海岸三十七里、全ク東洋ニ向
ヒテ、海上ハ常陸灘ノ稱アリ、中央ヲ那珂港トナス、那珂
川ハ、下野ヨリ來リテ、東ニ流ル、十二里、仙波沼、酒沼ノ
下流ヲ并セテ、直ニ大洋ニ注グ、酒沼ハ頗大ナリ、周回七

里、下流ハ祝町ニ至リテ、其河口ニ注ク、即那珂港トリ、那
珂ハ、中ナリ、此川ハ、大率國ノ中央ヲ流ルレバ、郡名ト其
ニ此名アリト云フ、故ニ國內ノ地勢モ、亦自其形勢ヲ分
チテ、河ヨリ北ハ、山谷相列リテ、下野磐城ニ接シ、金沙山、
東西兩峯アリ、月居男體ノ諸山、相峙チテ、國境ヲハ溝山
トナス、月居山麓ノ四度瀧ハ、飛流四十丈、頗奇觀タリ、海
岸ハ、高鈴山、神峯山及堅破花園等ニシテ、沿海ノ一路ヲ
陸前濱街道トナス、勿來關ハ國境ノ山道ニシテ、其海岸
ニ平瀉港アリ、灣内狹小ナレドモ、亦東洋中ノ良泊タリ、
○久慈川ハ、源ヲ八溝山ニ發シテ、磐城ヨリ來リ、山谷ノ

際ヲ貫キ下リテ、東ニ轉ジ、太田ノ南ニ至リテ、里川ヲ并セ、其流二十四里ニシテ、大洋ニ入ル、其河口モ、久慈ト稱セル海港ナレドモ、舟泊ノ利、少シト云フ、太田ハ、頗繁盛ナル一邑ニシテ、佐竹氏ノ舊城墟タリ

那珂川以南ハ、平野十餘里ニ亘リ、南ハ利根川ヲ夾ミ、西ハ小貝川ヲ限リテ、共ニ下總ニ接セリ、牛久沼、大寶沼等アリ、牛久ハ、周回六里、下流ハ、直ニ小貝川ニ入ル、其相合フ處ハ、水戸街道ニシテ、下總ノ藤代ト相接セリ、其東南ハ、女化ト呼ベル廣野ニシテ、四方三里ニ亘リ、南隅ノ一邑ヲ龍寄ト云フ、大寶沼ハ三里ノ沿回アリ、其近傍ハ下

館下妻ノ諸邑相並ヒテ、小貝川、絹川ノ間ニ夾リ、下流ハ、絲依川トナリ、國境ニ沿ヒテ、絹川ニ注ケリ、筑波山ハ、平野ノ際ニ立チテ、男體、女體ノ雙峯並ビ聳エタリ、此山ハ、八州平遠ノ際ニ屹立スレバ、最賞稱セラレ、名山ニシテ、後山ハ、蘆穗山、加波山、相連リテ、下野ノ佛頂山ニ接ス、櫻川ハ、源ヲ國境ニ發シテ、三山ノ西麓ヲ流レ、又、筑波山ヨリ來ル美那濃川ヲ并セテ、東南ニ環ル、故ニ筑波川ノ稱アリ、其流十里、土浦ニ至リテ、霞浦ニ入ル、霞浦ハ、大ナル湖水ニシテ、四方七里ニ亘リ、其周回ハ、三十六里ニ及ブ、近江ノ琵琶湖ニ次ギテ、全國第二ノ湖水

タリ、西岸ニ兩灣アリ、南ヲ江戸崎ト云フ、浮島其港口ニ
峙チテ、周回四里アリ、北灣ハ、即土浦ナリ、頗繁盛ナル城
邑ニシテ、水戸街道中ノ大邑ナリ、湖水ハ、東ニ流レテ、新
利根横利根ノ兩川ヲ受ケ、相逼リテ、一河トナル、即北利
根川ナリ、牛堀潮來ヲ過ギテ、北浦ノ水ト相合フ、北浦モ、
亦一ノ湖水ニシテ、南北六里、周回十五里、然ル、行方鹿島
兩郡ノ際ニ夾レバ、其幅一里ニ過ギズ、兩湖ノ水、相合フ
處ヲ、浪逆浦ト云フ、蓋海潮滿チ來ル時ハ、其水逆流ス、故
ニ此名アリト云フ、平時ハ、息洲高濱ヲ過ギ、利根川ノ本
流ニ會シテ、銚子口ニ注グ○鹿島ハ、大洋ニ向ヒテ、那珂

川ノ海口ヨリ、銚子口ニ至ル、平沙二十里、其形狹長ニシ
テ、東南ニ亘リ、南端ヲ東下ト云ヒ、其間赤砂高ク聚リタ
ル者ヲ、砂山ト呼ビ、利根川ノ河口ヲ夾ミテ、銚子港ノ北
ヲ限リ、其岬角ヲ羽寄トナス、鹿島神宮ハ、外洋ニ臨ミタ
レド、北浦ニ臨ミタル大船津ヲ、入津ノ處トス、
水戸ハ、一都會ナル城邑ニシテ、一萬九千ノ人口アリ、街
市ハ、上市下市ニ分レ、本城ハ、其中央ニアリテ、南ハ千波
沼ニ臨ミ、北ハ那珂川ヲ帶ブ、官道ハ、石岡土浦ヲ過ギテ、
西南下總ニ通ズル者ヲ、水戸街道ト呼ビ、東京ト相距ル
三十一里、又陸前濱街道ハ、石神助川伊師等ヲ經テ、東北

磐城平ニ至ル、二十六里ナリト云フ、○那珂港ハ、那珂川ノ海口ニレテ、港市ハ、湊町、祝町、磯濱等、河口ヲ相夾ミ、合セテ一萬三千ノ人口アリ、其水戸ト相距ル三里、水陸共ニ運輸ノ便利多シト云フ、

上野 十四郡

上野ハ、下野ト共ニ毛野ト稱セシ大國ナリシガ、後上下兩國ニ分ルト云フ、此國ハ、關東ノ西北隅ナレバ、北境ハ、深山重嶺ヲ負フト雖、東南ハ、平野遠ク亘リテ、武藏及下野下總ニ連リ、利根川ノ外、又境界ナシ、利根川ハ、文珠山ニ出ツル者ヲ、正源トナス、赤谷發知ノ

諸水ヲ并セテ、山谷ノ際ヲ下リ、片品川ト、沼田ニ相會シ、白井ニ至リテ、又吾妻川ト合フ、此地ハ、赤城榛名兩山ノ麓、互ニ相絶ユル處ニシテ、合流以下ハ、山圍全ク解ケ、前橋ヲ過ギテ、東南ニ流レ、直ニ武藏ノ境ニ至ル、烏川西ヨリ來リ會シテ、烏村ヲ抱キ、共ニ折レテ、東ニ轉ジ、國境ヲ流ル、十餘里、河幅頗廣クシテ、水勢益大ナリ、下總ノ界ニ至リテ、渡瀨川ニ會シ、遂ニ兩國ノ際ニ入ル、源ヨリニ十八里、是ヲ上利根川ト呼ズ、赤城榛名ノ兩山ハ、國ノ中央ニ雙立シテ、各南ニ向ヒ、相並ビテ、山野ノ經界ヲナス、赤城ハ、東ニ立チテ、山勢頗高

峻ナレドモ、山腰平カニシテ、曠原三里ニ亘ル、榛名ハ、西ニ峙チ、數峯相集リテ、其高キ者ヲ相馬山ト云ヒ、山際ノ小湖ヲ、伊香保沼トス、兩山ノ陰ハ、利根吾妻ノ二郡ニシテ、沼田ヲ山間ノ一邑トナス、其東隅ハ、下野ニ接シテ、荒山最高シ、北ハ、武尊山、文珠山等、相重リテ、峽間ノ尾瀨沼ハ、周回三里、其中央ヲ岩代ノ境トナス、片品川ハ、源ヲ其傍ニ發シテ、西南ニ環リ下ル、三十里、利根川支源ノ一ナリ、○三國峠ハ、大山脈ノ中間ヲ貫キテ、險阪三里ナレドモ、北國街道ノ通路ナレバ、人馬ノ往來、常ニ多シ、以西ハ、信濃ニ包レ、稻包、岩寥、萬座ノ諸山、國境ニ並ビ列リテ、淺

間岳ニ連ル、白根山、吾妻山ハ、同國ノ白峯、四阿ト、同山異字ニシテ、鳥居峠ヲ兩國ノ通路トナス、吾妻川ハ、嶺上ニ發源シテ、草津、四萬ノ諸水ヲ集メ、山谷ノ際ヲ東ニ流ル、十六里、亦利根川支源ノ一ナリ、其沿岸ノ村里ハ、淺間岳ノ北陰ニ當リテ、温泉甚多ク、草津、澤渡、河原等ノ諸湯アリ、四萬、伊香保ノ兩處ハ、最良泉ナリト云フ、碓氷山ハ、信濃ニ跨ル大嶺ニシテ、峻坂三里餘ナルモ、中山道ノ要路ニ當レリ、其山脈ハ、淺間岳ヨリ來リテ、南ニ亘リ、和見峠、荒船山等、信濃ノ境ニ並ビテ、武藏ノ秩父山ニ接スル處ヲ、三國山トナシ、以テ關東ノ西境ヲ限レリ、

○妙義山ハ、又白雲山ト云フ、金洞、金雞ノ兩山ト共ニ和見、荒船兩山ノ前面ニ聳エテ、平野ノ正西ニ並ブ、三山悉巨岩奇石、相重リテ、蠟燭峯、太日峯等ノ奇勝アリ、金洞ハ、中岳ト呼ビテ、山中ハ、石門四箇、最奇絶ナリ、高原一帯、相連リテ、山麓ヨリ東南ニ亘ル五里、碓氷、甘樂兩郡ノ郡界ヲ限ル者ヲ、横野原ト云フ、○碓氷川ハ、碓氷山中ヨリ來リテ、淺流急激ナリ、妙義山ノ麓ヲ環リテ、安中、板鼻ヲ過ギ、東南ニ流ル、九里ニシテ、烏川ニ入ル、其北岸ヲ、中山道ノ驛路トナス、蕪川、神流川ハ、共ニ甘樂川ノ轉訛ニシテ、各郡中ノ諸水ヲ分チ集メ、東流シテ、亦烏川ニ入ル、蕪

川ハ、下仁田、一宮、富岡ヲ過ギテ、其流十六里、神流川ハ、三國山ヨリ出デ、武藏ノ境ニ沿フ二十里、御荷鉾山ノ後陰ヲ環リテ、新町ニ至ル、中山道ノ渡津ナレドモ、水流常ニ淺小ナリ、烏川モ、亦碓氷山ノ北陰ニ發シテ、西北ヨリ來リ、高崎ニ至リ、始テ舟運ヲ下流ニ通ズベシ、岩鼻新町ヲ過ギテ、武藏ノ境ヲ限リ、遂ニ島村ニ會流ス、亦利根川支源ノ一ニシテ、其流十四里ナレドモ、行舟ノ利ハ、却テ此川ニ屬スト云フ、○渡瀨川ハ、長流三十里、亦支源ノ其一ナリ、下野ノ庚申山ヨリ來リテ、坂東川ト云フ、赤城山ノ麓ヲ、南ニ

流レテ、桐生川ヲ并セ、折レテ東ニ轉ジ、又下野ニ入ル、下流ハ、南ニ環リテ、下總ノ境ヲ過グ、故ニ界川ノ稱アリ、此川ハ、毛野ヲ分國セシ時ノ經界ニシテ、又佐野中川ト云フ、○利根渡瀨兩河ノ間ハ、邑樂郡ニシテ、下野ノ梁田郡ト、土地相交リ、其近傍ハ、地勢卑濕ナレバ、板倉沼城沼多々良沼等アリ、館林ハ、城沼ニ臨ミタル城邑ニシテ、人口一萬ニ近シト云フ、

高崎ハ、國中第一ノ都會ニシテ、人口一萬二千アリ、東京ヲ距ル二十八里、中山道北國街道及例幣使街道ノ驛路ニシテ、前橋ト相距ル三里、前橋ハ、元殿橋城ト稱シ、一萬

五千ノ人口アレドモ、其繁盛ハ、却テ高崎ニ及バズト云フ、○例幣使街道ハ、日光奉幣使ノ通路ニテ、五料太田ヲ歴テ、下野ノ梁田ニ至ル十二里、太田ハ、元弘中新田義貞ガ、義旗ヲ揚ゲシ處ニテ、其故趾ヲ金山ト云ヒ、新ニ新田神社ヲ造營セリ、其北ニ桐生伊勢崎ノ兩邑アリ、共ニ布帛ヲ産業トシテ、盛ニ織物ヲ出セリ、桐生殊ニ盛ナリ、上州織ト稱スル者ハ、實ニ此地ノ出ス所タリ、故ニ此國ハ、養蠶ノ業、各方共ニ盛ニシテ、平野ノ間ハ、桑田相連レリ、近來ハ、富岡及新町ニ製絲場ヲ設ケ、新ニ蒸氣器械ヲ備ヘテ、其業最盛大ヲ極ムト云フ、

下野 九郡

西北ハ、連岳重疊シテ、國境ヲ圍ミ、東ニ高原アリ、南ニ平野アリ、高原ノ水ハ、集リテ東ニ流ル、常陸ノ那珂川、是ナリ、平野ノ衆流ハ、絹川、息川ノ兩川トナリテ、南ニ流レ、皆利根川ニ會流セリ、
 二荒山高ク聳エテ、西北ノ隅ニ立ツ、其高峯ヲ、男體山、又黒髮山ト云ヒテ、其北ニ並ブ如寶山ヲ、女體山ト呼ブ、大真子、小真子ノ諸岳、其際ニ相重リテ、南麓ヲ日光トナス、東照宮ヲ奉祀セル處ニシテ、廟殿ノ結構ハ、金碧莊嚴、實ニ其美麗ヲ極メタリ、大谷川ニ、山菅橋ヲ架ケテ、鉢石町

ニ接シ、宇津宮ト相距ル九里、其沿道ノ行杉ハ、鬱蒼高ク夾ミテ、亦行路ノ壯觀タリ、山中ハ、湖沼瀑布頗多クシテ、其ニ奇景勝地タリ、湖水ノ大ナル者、周回八里、中禪寺湖ト呼ブ、其水南ニ決シテ、華嚴瀧トナリ、飛流四十丈、下流ヲ大谷川トナス、其他龍頭裏見霧降及湯瀧七瀧等、四十ハ瀧ト稱セリ、又五色沼赤沼アリ、湯沼ハ、其傍ニ温泉場アレドモ、僅ニ夏月ノ入浴ヲ得ルノミ、其上ニ峙ツ白根山ハ、即上野ノ荒山ナリ、○庚申山ハ、有名ノ奇山ニシテ、石橋洞門ノ勝ハ、榛名妙義ト並稱スベシ、二子山ト、其ニ白根山ノ南ニ立チテ、東ハ古峯原、勇裂山ニ連リ、南ハ足

尾岬地藏岳等並列シテ、上野ノ界ニ亘ル者ヲ、安蘇山ト
總稱ス、其山脈ノ盡クル處ヲ足利郡トナス、○出流山モ、
亦奇山ニシテ、危巖石洞アリ、男裂山ノ南ニ峙チ、太平岩
船ノ諸山ト相並ビテ、安蘇山ノ前面ニ亘レリ、是ヨリ東
南ハ、地勢平坦ナレバ、下總ト相交リテ、直ニ八州ノ平野
ニ連レリ、

那須岳ハ、五峯並列シテ、茶臼岳最高シ、且噴火山ニシテ、
硫烟常ニ出ヅ、男鹿、佐飛、箒根、鹽原高原ノ連岳皆南向シ
テ、高原ノ北ヲ圍ミ、西ニ亘リテ、二荒山ニ接ス、其背ヲ岩
代トナス、而テ、高原ノ東ヲ限ル者ハ、八溝山、磐城ノ隅ニ

立チ、其脈南ニ亘リテ、烏子山、雞足山等、常陸ノ境ニ連リ、
佛頂山ニ至リテ盡ク、○高原ハ、那須野、鹽谷原ノ二野ニ
分レテ、四方十餘里ニ亘リ、地勢高寒ニシテ、大率皆荒蕪
セリ、陸羽街道ハ、阿久津ヨリ、磐城ノ境ニ至ル、十八里ニ
シテ、其間二十三坂アリト云フ、太田原、黒羽、烏山及佐久
山、喜連川等ノ城邑アリ、又那須鹽原ハ、温泉アリテ、浴客
常ニ多シト云フ、

那珂川ハ、上流ヲ那須川ト云フ、源ヲ男鹿山頂ノ男鹿沼
ニ發シテ、余笹川、黒川ヲ合セ、黒羽ヲ過ギテ、南ニ流レ、箒
川ト相合ヒテ、水勢漸大ナリ、烏山ニ至リ、又荒川ヲ合セ

テ、東ニ轉ジ、始テ舟運アリ、東境ノ山谷ヲ貫キテ、常陸ニ入ル、其流三十里、常川ハ、常根山ヨリ出デ、佐比川ハ、佐飛岳ニ發シ、各曠野ノ間ヲ環流シテ、太田原ノ南ニ會セリ、絹川ハ、高原山陰ノ衣沼ニ發源シテ、五十里川ヲ合セ、南ニ流レテ、山圍ヲ出デ、大谷川ヲ并セテ、其流頗急駿ナリ、阿久津ヲ官道ノ渡津トナシ、以下漸行舟ノ利アリ、遂ニ下總ニ入りテ、利根川ニ會ス、亦其支源ニシテ、國內ヲ流ル、二十里、古ハ毛野川ト云ヒシカ、轉稱シテ、今又鬼怒川ト呼ベリ、此川ハ、平野ノ中央ヲ流ル、者ニシテ、其東隅ハ、五行川、衆流ヲ集メテ、真岡ヲ過ギ、常陸ニ入りテ、子

貝川ト云フ、思川ハ、上流ヲ小倉川ト云ヒ、古峯原ヨリ來リテ、東ニ流レ、壬生ニテ、黒川ヲ合セ、漸下リテ、又安川ニ會シ、小山ヲ過ギテ、出流澤赤間沼等ノ下流ヲ合セ、古河ニ至リ、渡瀬川ト、共ニ界川トナリテ、利根川ニ會セリ、宇都宮ハ、平野ノ北隅ニ居リ、奥羽街道ノ要路ニ當リテ、一萬五千ノ人口アリ、國中第一ノ都會ナレバ、土人ハ宮トノミ唱フ、南ハ東京ト相距ル二十八里、北ハ磐城ノ白河ニ至ル二十里アリト云フ、○梁田、天明、榎木、鹿沼ノ諸邑ハ、即例幣使街道ニシテ、太平、出流、諸山ノ東麓ニ傍ヒテ、日光ニ至ル二十里、榎木ヲ小都會ナル街市トナス、○

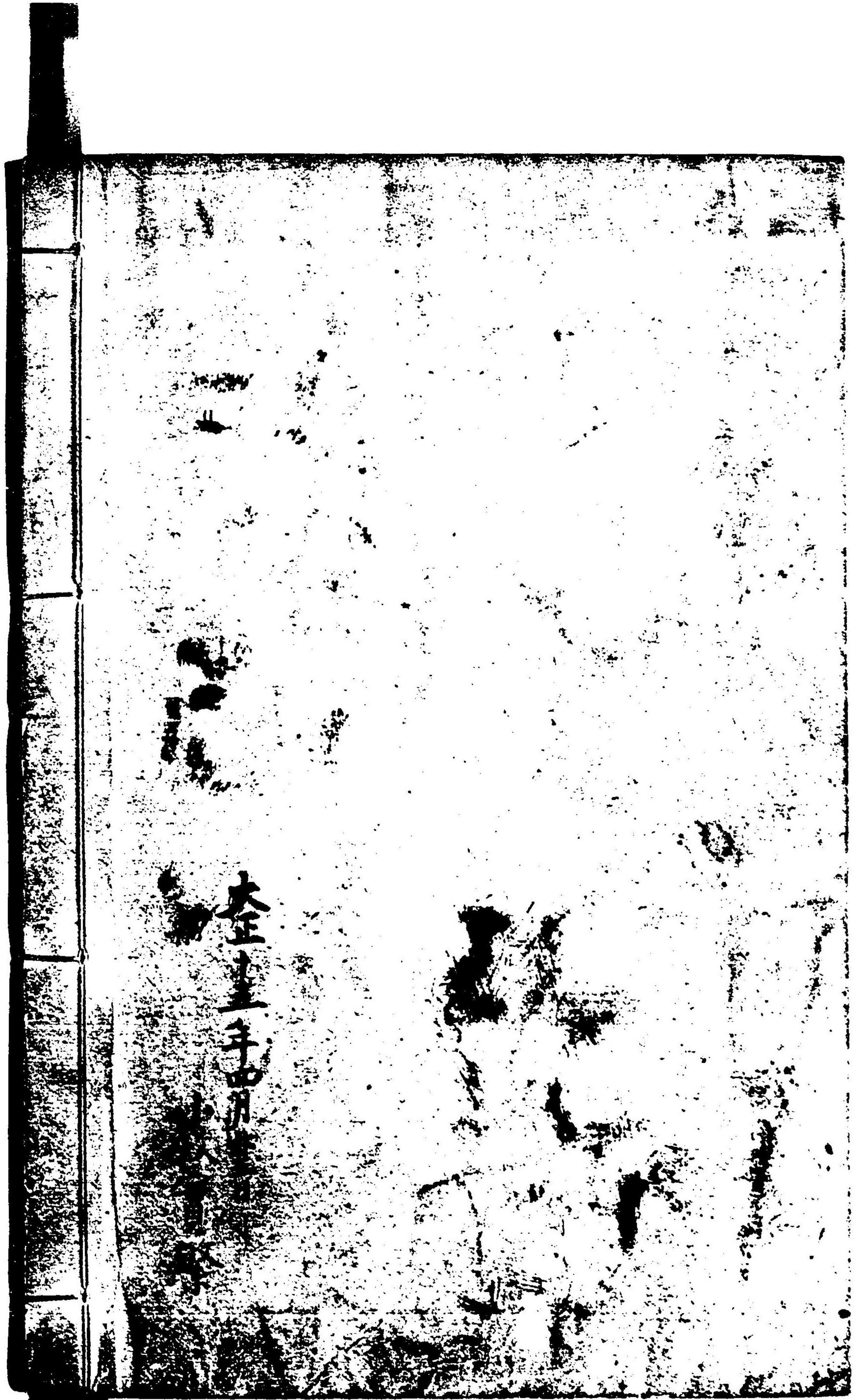
足利ハ古ヨリ學校アリテ、堂舎書籍、今尚存在セリ、蓋中世國學ハ遺校ニシテ、永享中關東管領上杉憲實、大ニ講學ノ業ヲ興シ、書冊土田ヲ納レテ、學生ヲ養フ、戰亂ノ世ニ當リ、有志ノ士、四方ヨリ來リテ、習學ノ業ニ就キシト云フ、此地ハ、梁田ト相接シ、渡瀨川西ヨリ來リテ、其間ヲ流レ、始テ舟運ヲ下流ニ通ズト云フ、
産物

關東第一ノ産ヲ、織物トナシ、桐生ハ王子ノ兩地、最盛ナリ、桐生ハ、縮緬、綾織、絨織等ノ諸品アリ、ハ王子ハ、精巧織博多織ヲ、專業トナシ、又五日市ニテ黒ハ

丈ヲ摸造シテ、五日市織ヲ通稱トナスニ至ル、其他ハ秩父絹、足利絹、結城紬、玉川紬、伊勢崎太織、川和縞等ニシテ、常陸木綿、真岡木綿、結城木綿、銚子縮、川越平、及鹿沼麻、青梅綿等、皆織物ノ善良ナル者ナリ、生絲ハ、富岡製絲場ヲ第一トシテ、八州ノ村里、養蠶ヲ業トセザル者ナシ、武藏野及兩總ノ原野ハ、盛ニ茶ヲ培植シテ、製造頗多ク、狭山ノ産、最名品タリ、紙ハ、水戸ノ西内、程村、其質堅厚ニシテ、玉川唐紙、那須杉原、又各種ノ料ニ供スベシ、烟草ハ、上州ノ館、及常陸ノ赤土ヲ、最良トシ、秩父、那須、沼田モ、亦名葉ヲ出セリ、流山味醂、野田醬油、佐原酒、行徳鹽、佐倉炭等ハ、

下總ノ名産ニシテ、味醂、醬油ノ兩品ハ、全國第一等ノ精釀トス、相模ノ産ハ、小田原ノ梅干、鹽辛、浦賀ノ水飴、鹿尾藻等ヨリ、湯本ニ挽物細工アリ、江島ニ貝細工アリ、大森ノ麥藁細工、川口ノ鑄物、今戸ノ燒物ハ、武藏ノ産物ニシテ、川越薯岩、槻葱及杉田ノ梅干モ、亦各地ノ佳味ヲ賞スベシ、水戸ハ、銅製ノ鍋、藥罐ヲ製シ、又膳盆ノ淡塗ト唱フル者ハ、漆器中ノ良品ナリ、日光塗、日光蕃椒、日光蠟石ハ、一種ノ名物ニシテ、山中ハ、慈悲心鳥、岩燕及石楠、斧折木、人參等ノ異品アリ、礦物ハ、秩父ノ銅、古來有名ノ礦場ナレドモ、今休山トナレリ、足尾銅山、小坂鐵山、採切頗盛ニ

シテ、足尾ハ、又蠟石ヲ出シ、小坂ハ、殊ニ砥石ニ富メリ、寒水石ハ、常陸ノ良材ニシテ、久慈郡ヨリ産出シ、又斑石ト呼ブ者、紅葉霜降等ノ數種アリ、又多賀郡ノ石炭山モ、近年輸出頗多シ、房州沙ハ、細白ノ磨砂ニシテ、根府川石ハ、庭園必用ノ石材ナリ、下總ノ牧馬ハ、駿良ナラサルモ、尋常負荷ノ用ニ堪フ、利根川ノ本流ハ、鮭ヲ名産トシ、江戸川ハ、鯉ヲ美鮮トス、多磨川ノ鮎ハ、其名最高クシテ、相模川、那珂川ノ諸川モ、亦名品ノ稱アリ、山椒魚ハ、箱根山中ノ奇蟲ニシテ、黄骨魚ハ、絹川ノ異魚ナリ、霞浦ハ、鯉、鰻及公魚、櫻蝦ノ産ナリ、印幡手賀等ノ諸沼ハ、鮒、鰯、鱈ノ類



全
生
年
四
月